

広 報 課

1 調布市官公庁等連絡会

予算科目(款・項・目) 10・05・10 [決算書85ページ]

調布市に係る官公庁等間の連絡調整を密にし、相互の連携を図ることにより業務を円滑に進めることを目的として設置しているもの

(1) 開催状況

開催日	内 容
平成29年5月10日	会長・副会長の改選及び各官公庁等の近況についての情報交換ほか
平成29年10月17日	各官公庁等の近況についての情報交換ほか

(2) 平成29年度参加団体

No.	官 公 庁 等 名	No.	官 公 庁 等 名
1	陸上自衛隊第1後方支援連隊第1整備大隊	13	京王電鉄株式会社鉄道営業部京王中央管区
2	警視庁調布警察署	14	京王バス東株式会社調布営業所
3	東京消防庁調布消防署	15	小田急バス株式会社狛江営業所
4	国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所多摩出張所	16	法務省東京法務局府中支局
		17	国税庁東京国税局武蔵府中税務署
5	国土交通省関東地方整備局相武国道事務所日野出張所	18	厚生労働省東京労働局ハローワーク府中
		19	日本年金機構府中年金事務所
6	東京都北多摩南部建設事務所	20	東京都多摩府中保健所
7	東京都水道局多摩水道改革推進本部多摩給水管理事務所	21	公益財団法人東京都公園協会神代植物公園サービスセンター
8	東京電力パワーグリッド株式会社武蔵野支社	22	株式会社東京スタジアム
		23	株式会社ジェイコムイースト調布局
9	東京ガス株式会社西部支店	24	調布エフエム放送株式会社
10	日本郵政株式会社調布郵便局	25	国立大学法人電気通信大学
11	東日本電信電話株式会社東京武蔵野支店	26	調布市
12	東京都調布飛行場管理事務所		

2 報道機関への情報提供活動

予算科目(款・項・目) 10・05・10 [決算書85ページ]

調布市の施策・事業等を広く周知するため、報道機関に対して情報提供及び取材協力活動を実施するもの

(1) 情報提供活動

朝日・読売・毎日・産経・東京・日経の各新聞社、NHK・フジテレビ・テレビ朝日・TBS・日本テレビ・テレビ東京・TOKYO MX・J:COM・調布エフエム放送の各放送局、共同通信及び時事通信の通信社並びに都政新報社に対し、プレス発表や取材協力要請により情報提供を行った。

情報提供件数 180件(うち、報道件数 92件)

(2) 記者会見

開催日	区分	内 容
平成29年5月26日	定例	平成29年第2回調布市議会定例会議案関係

平成29年8月29日	定例	平成29年第3回調布市議会定例会議案関係
平成29年11月24日	定例	平成29年第4回調布市議会定例会議案関係
平成30年2月23日	定例	平成30年第1回調布市議会定例会議案関係

3 市報等出版物編集・発行に関すること

予算科目(款・項・目) 10・05・10

[決算書87ページ]

市民との情報共有化を推進するため、市報ちょうふ等の刊行物や「声の広報」を発行するもの

(1) 市報ちょうふ

市報定例号、特集号を発行し、市内全戸に配布した。また、市内の郵便局及び主な市の施設等でも配布した。

ア 市報ちょうふ定例号

- (ア) タブロイド判 4ページ・4色 1回(新春号 発行部数 122,820部)
- (イ) タブロイド判 12ページ・2色 18回(毎月5日・20日。10月から1月までは20日号のみ。2月・3月は5日号のみ。発行部数 平均122,408部)
- (ウ) タブロイド判 16ページ・4色 5回(10月・11月・12月の5日号。2月・3月は20日号。発行部数 平均122,872部) ※市報リニューアルに向けた試行実施

イ 市報ちょうふ特集号

- (ア) 平成29年6月23日発行 東京都議会議員選挙特集号(タブロイド判 2ページ・2色 発行部数 122,120部)
- (イ) 平成29年9月23日発行 中心市街地活性化特集号(タブロイド判 2ページ・カラー 発行部数 122,700部)

ウ 市報記事へのICT技術の活用

市報への若者の関心を高めるためAR技術を活用した。

掲載件数 17件

※ AR(拡張現実)とは、スマートフォン等のアプリケーションを活用し、現実世界を補う映像情報等を付加することで、目の前にある現実以上の情報を提示する技術。専用アプリケーションをダウンロードした後、スマートフォン等のカメラをAR動画が設定された市報上の写真等にかざすと、スマートフォン等の画面上で当該写真に関連する動画の再生が始まる。

(2) 声の広報(視覚障害者用カセットテープ)

市報定例号及び新春号の年24回分をボランティアの協力により録音し、視覚障害者等の希望者(1回につき約13本)に郵送配布した。

(3) 市報ちょうふテキスト版

市報ちょうふのテキストデータを、音声読み上げソフトを利用している視覚障害者等の希望者(24人)にメール配信した。

(4) 調布市生活ガイド

市とNTTタウンページ株式会社との協働により、「タウンページ東京都調布市版」に、市が実施する様々な行政サービスや各種行政手続について分かりやすく紹介した「調布市生活ガイド」(A4判94ページ)を掲載し、別冊「調布市防災タウンページ」とともに平成30年1月に、NTT東日本が発行及び市内全戸に配布した。

また、転入者には、市民課及び神代出張所の窓口で配布した。

(5) 調布まっぷ

市と住宅地図製作会社との協働で、広告料収入により作成した「調布まっぷ」を市民課及び神代

出張所で転入者に配布した。

ア 掲載内容 市の全体図，市内のバス路線図，市の主な施設一覧など

イ 発行部数 2万部

ウ 規格 展開A1サイズ（仕上がりA4サイズ）・カラー（地図の縮尺は1万分の1）

4 市政情報の放送に関すること 予算科目（款・項・目）10・05・10 [決算書87ページ]

市民との情報共有化を推進するため，J：COMや調布エフエム放送等の様々な媒体を通して市政情報を提供するもの

(1) テレビ広報ちょうふ

調布市の魅力や行政情報を分かりやすく紹介する番組「テレビ広報ちょうふ」を，J：COM（デジタル111ch）で放送した（30分番組）。また，番組の一部を動画ライブラリーに活用した。

ア 番組内容

(ア) イベントレポート・施設紹介

市内で行われたイベントや市内公共施設を，市民や関係者のインタビューを含めて紹介

(イ) 「調布の魅力再発見！」

市内の名所や調布ならではのイベントなど，調布のまちの魅力を紹介

(ウ) 「調布のスターを探せ！」

文化・芸術，スポーツ活動等で活躍する市内の団体や個人にスポットを当てて紹介

(エ) 「ピックアップ！ちょうふ」

市と調布市商工会が推進する「バイ調布運動」の一環として，市内の魅力あるお店や商店会を紹介

(オ) 職員インタビュー

市政・イベント情報，ごみダイエツト通信，スマートライフ情報，ヘルスケア通信等，職員等へのインタビューにより紹介

イ 放送回数・放送日時

毎日3回（正午から午後零時30分まで，午後4時から午後4時30分まで，午後8時から午後8時30分まで）

(ア) 5日号 5日から11日まで（1月は新春号として1日から9日までに放送）

(イ) 12日号 12日から19日まで（1月は特集号として10日から19日までに放送）

(ウ) 20日号 20日から26日まで（12月は31日まで放送）

(エ) 27日号 27日から翌月4日まで（12月は27日号の放送なし）

ウ 放送エリア

調布市，狛江市，世田谷区の一部（京王線，小田急線沿線地域）

(2) 調布市ほっとインフォメーション

市からのお知らせを調布エフエム放送（83.8MHz）で毎日放送した。

ア 市の行事予定や市議会開催の日程等をパーソナリティが生放送した。

(ア) 毎週月曜日から金曜日まで 午前9時15分から午前9時30分まで，
午後5時30分から午後5時35分まで

(イ) 毎週土曜日 午後5時30分から午後5時35分まで

(ウ) 毎週日曜日 午後3時30分から午後3時35分まで

イ 市職員や関係団体職員が，施策やイベントなどについてパーソナリティと対話形式で放送した。

毎週月曜日から金曜日まで 午後1時30分から午後1時45分まで、午後4時から午後4時15分まで（再放送）、午後9時から午後9時15分まで（再放送）

(3) デジタルサイネージ（電子掲示板）

市役所2階総合案内所前及び市民課待合スペースに大型モニターを3台設置し、市政情報を放映した。

5 市政情報の提供サービス 予算科目（款・項・目）10・05・10〔決算書87ページ〕

市民との情報共有化を推進するため、インターネットや電子メール等を活用し市政情報や災害情報を提供するもの

(1) 公式ホームページ

市の公式ホームページで市政全般にわたる情報提供を行った。

ア トップページアクセス件数 パソコン用 1,275,572件

スマートフォン用 155,104件

携帯電話用 3,203件

イ 外国語自動翻訳システムアクセス件数 12,690件

(2) メールマガジン

登録のあった市民のメールアドレス宛に、メールマガジン「週刊マルちめ〜る」を配信した。

市ホームページに登録・更新された市政全般の情報は週1回（毎週金曜日）配信し、市報ちょうふ掲載の情報は、原則、市報発行日に配信した。

登録人数 1,358人（平成30年3月31日現在）

(3) ツイッター

災害・防災関連情報やイベント情報等をインターネット上のツイッターで発信した。

ア アカウント名 chofu_shi

イ ツイート数 1,259件

ウ フォロワー数 11,335人（平成30年3月31日現在）

(4) フェイスブック

平成28年6月から運用を開始した。市の様々な魅力をインターネット上のフェイスブックで発信した。

ア アカウント名 東京都調布市

イ 投稿数 170件

ウ フォロワー数 888人（平成30年3月31日現在）

エ フェイスブックを活用したフォトコンテスト

「わたしの好きな調布」をテーマに写真を募集した。応募のあった写真をフェイスブックページに公開し、「いいね」などの数が多かった作品を表彰した。

(ア) 作品募集期間 平成29年7月5日から同年8月18日まで

(イ) 作品数 54点

(ウ) フェイスブック上での審査期間 平成29年8月25日から同年9月19日まで

(エ) 表彰 最優秀賞1点、優秀賞2点、FC東京賞1点、調布新発見賞1点

(オ) 写真の使用用途 市報ちょうふ、テレビ広報、市の公式ホームページ、ツイッターなどに掲載した。

(5) 動画ライブラリー

ケーブルテレビで放送した、まちの魅力再発見やイベント情報、市のプロモーション映像等の中

心に、動画共有サイトを活用して、市ホームページ上で動画配信を行った。

ア 動画配信コンテンツ数 237件

イ 視聴アクセス回数累計 224,913回(平成30年3月31日現在)

(6) 画像ライブラリー

平成30年3月19日に市ホームページ上に、広報課が保有する市内風景等の写真を一定のルールの下で自由に二次利用できる形式で掲載するページを開設した。

ア 画像ライブラリーバナーアクセス数(平成30年3月19日から同年3月31日まで) 155回

イ 掲載写真数 105枚

6 調布のまちの魅力発信事業 予算科目(款・項・目) 10・05・10 [決算書87ページ]

ラグビーワールドカップ2019日本大会や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催を見据え、東京都市長会の助成金を活用して、平成29年度までに外国語にも対応した調布のPR映像等を制作するもの

(1) 映像撮影・編集・翻訳

平成28年度に引き続き、映像の撮影を行った。また、撮影した映像を編集し、日本語のほか、英語、中国語、韓国語に翻訳した作品を制作した。

(2) 作品概要

ア Feel—調布を感じる—

調布の四季の風景を美しい映像で紹介するもの

イ Experience—調布を体験する—

外国人モデル2人が、調布の観光スポットを巡り、観光客が調布で楽しめる体験を紹介するもの

ウ Discover—調布を知る—

「映画のまち調布」、「東京スタジアム(味の素スタジアム)」、「水木マンガが生まれた街」という調布の特徴をインタビュー形式で紹介するもの

エ Smile—調布でおもてなし—

市民の笑顔で、調布の優しさ・ぬくもりを紹介するもの

(3) 映像の発信

市HP動画ライブラリー(youtube)に掲載するほか、調布駅地下通路デジタルサイネージで放映を開始した。その他の映像を、シアタス調布のプレアド(入替時間である幕間に上映)で上映した。

7 庁内放送

来庁者や職員を対象に、市庁舎の放送設備を使用して情報伝達するもの

(1) おはようタイム(原則、1月を除く毎月月初めの平日午前9時から)

市長が市政に対する考え等を周知するため、月1回、5分間程度の生放送を行った。

放送回数 11回

(2) おはよう調布

市の行事予定や会議、重要施策等を各課職員が交代して、原則毎週月曜日の午前8時40分から5分間程度の生放送を行った。

放送回数 53回

8 広報研修

市職員を対象に、市の広報についての理解促進や情報発信方法等を周知するため、研修を実施するもの

(1) ホームページシステム操作研修

市ホームページにおいて、市民に分かりやすく、積極的に情報提供するため、ホームページシステム操作研修を実施した。

平成29年5月16・17日 計3回実施 受講者28人

(2) 広報研修

市報、市ホームページ、テレビ広報等の広報媒体の活用方法や、新聞社等へのパブリシティの方法について研修を実施した。

平成29年6月29日 受講者36人

(3) 広報研修「いいチラシと広報で「PR&集客力アップ」」

行事やイベントなどの実施を効果的にPRする方法について、外部講師を招いて研修を実施した。

平成30年3月22日 受講者73人

講師：石原 靖之氏（株式会社「グッドライフ多摩」代表取締役）

大久保 賢一氏（コピーライター・クリエイティブディレクター）

原子 尚之氏（グラフィックデザイナー）